

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E142K013		体育史 (History of Physical education and sport)														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	3	教育学部			氏名 谷口勇一										
						E-mail 内線										
授業の概要	欧米と日本の学校体育の及びスポーツの出現、発展、展開について学ぶ。各時代の体育やスポーツから現代の体育・スポーツのあり方について再考することができるようになることをめざす。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)									
目標1	時代背景や因果関係をおさえながら、体育・スポーツの出現・発展について具体例を示しながら説明できる。						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標2	各時代の体育・スポーツを批判的にとらえながら、今日の体育のあり方について表現できる。							○	○							
目標3	演習課題に取り組み、当時の体育・スポーツについて読み解こうとする。							○	○							
目標4	時代や国家等による体育・スポーツの歩みの相違を踏まえて各事象や出来事について比較することができる。										○					
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	スポーツの概念															
2	中世のスポーツ（トーナメントなど）															
3	ドイツ汎愛学校における体育授業															
4	トゥルネンの成立と発展（鉄棒などの体操）															
5	イギリスのパブリック・スクールにおけるゲーム活動（スポーツの発祥）															
6	幕末期の藩校教育と武術															
7	幕末期における学問と武術															
8	日本におけるスポーツの移入															
9	明治期の学校体育（体育教師の養成）															
10	大正期における学校体育（学校体操教授要目を中心に）															
11	戦前の学校体育（体錬科への改称とその内容）															
12	戦後の学校体育と学習指導要領（新体育を含む）															
13	古代オリンピック史															
14	近代オリンピックとスポーツの文化的意義															
15	オリンピック・ムーブメントの概念と内容															
ラーニング目標	A:知識の定着・確認	○	小レポート				工夫その他の	演習（史料解読・解釈）とそれに関する発表及び意見交換								
	B:意見の表現・交換	○	資料（史料）の解釈及び映像（画像）資料視聴を踏まえた体育・スポーツの解釈													
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
時間外学習の内容と時間の目安	準備	配布資料に関する予習（10h）														
	学修	授業中に出された課題についての準備（5h）														
	事後	授業で学習したことについての復習（10h）														
	学修	小レポートや課題（15h）														
教科書	教科書は指定しない															
参考書	寒川恒夫編、『図説スポーツ史』、朝倉書店、平成3年 新井博編、『スポーツの歴史と文化』、道と書院、平成31年 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、平成29年															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	小レポート	30%	○	○		○										
	演習課題（史料解読・解釈）	10%			○											
	最終課題	60%	○			○										
注意事項																
備考																
リンク																
	URL															